

賛助会員

有限会社浜野顕微鏡 (〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-18)

株式会社ヤクルト本社研究所 (〒186-8650 東京都国立市谷保 1796)

神協産業株式会社 (〒742-1502 山口県熊毛郡田布施町波野 962-1)

理研食品株式会社 (〒985-8540 宮城県多賀城市宮内 2-5-60)

マイクロアルジェコーポレーション株式会社 (〒500-8148 岐阜県岐阜市曙町 4-15)

共和コンクリート工業株式会社 (〒060-0808 北海道札幌市北区北 8 条西 3 丁目 28 札幌エルプラザ 11 階)

(株) 環境総合テクノス (〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町 1-3-5)

(株) 日本港湾コンサルタント (〒140-0031 東京都品川区西五反田 8 丁目 3 番 6 号)

ご投稿をお待ちしています

「藻類」は皆様の原稿で成り立っている雑誌です。原著論文のみならず、総説やその他の報文（記事等）のご投稿もお待ちしております。ご投稿に際しましては、次頁の投稿案内をご覧ください。（編）

編集後記

今回、北山さん（国立科学博物館）に遠藤吉三郎先生関連の記事を 2 本ご投稿いただきました。宮部金吾先生、岡村金太郎先生、山田幸男先生とともに日本海藻研究創設期の偉大な研究者の一人の遠藤吉三郎先生に関する貴重な写真を沢山掲載していただきました。遠藤先生の標本ラベルの文字は、なんとも味があって昔から好きでした。薄暗い光、標本の匂

い、ラベルの文字、北大標本室（SAP）が懐かしいです。

また今回は追悼文や訃報が続きました。時代を創ってきた方々の意志を継ぎ、さらなる藻類学の発展に貢献できるよう精進しなくてはという思いです。

次号（11/10 発行）は、毎年ページ数が少なくなる傾向があります。みなさまからの原稿、お待ちしております。

（畠田 智）

表紙 ヒジキ *Sargassum fusiforme*

左上：雌性生殖器床上の卵
 右上：雌性生殖器床から落下した幼胚
 左下：幼胚から仮根が伸長した発芽体
 右下：茎葉の屈曲部から新たな茎葉が形成された幼体

作成者より：三重県鳥羽市の母藻から採取した卵を培養しました。
 （積善興業株式会社・森田晃央，本誌 88 ページ参照）